

女性研究者研究活動支援事業（一般型）

(実施期間：平成 25～27 年度)

実施機関：京都府立大学（総括責任者：築山 崇）

プロジェクトの概要

京都府立大学の女子学生比率が約6割と高い特徴を活かし、「女性教員・若手研究者・卒業生が相互に支え合う〔府大版ワークシェアリング〕事業」を行う。具体的には、学生・教員・就業希望卒業生による女性ネットワークを立ち上げ、①研究・教育支援（RA・TA・事務支援員雇用、保育支援等）、②若手研究者育成（女性RA・TAとしての就業、メンター制度・相談）、③京都府と連携した男女共同参画啓発活動を行う。

また、女性副学長を長とする「男女共同参画推進室」を設置し、コーディネーター1名の他、キャリアアドバイザー及び心理カウンセラー等を配置し、京都政策研究センター及び京都府立医科大学男女共同参画推進センターと連携して、事業を推進する。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	実施期間終了後の取組の継続性・発展性
B	b	a	b	a	b

総合評価：B（所期の計画以下の取組であるが、一部で当初計画と同等又はそれ以上の取組も見られる）

(2) 評価コメント

女性研究者の在籍比率、ライフイベントを理由とする女性研究者の離職者数に係る所期の目標を達成したことは、評価できる。しかしながら、研究分野により女性教員の在籍者数に未だ大きな偏りがあり、自然科学系分野に限ると、実施期間中に女性教員数は僅か1名の増加に止まっており、選定時のコメントに対し、適切に対応したとは言い難い。また、実施期間終了後の取組に対する資金計画も十分とは言えず、取組の継続性が懸念される。今後は、個々の取組の意図や、取組相互の関連、取組の成果を明確にし、取組の継続と、発展を図ることを期待する。

- ・ **目標達成度**：女性研究者の在籍比率、ライフイベントを理由とする女性研究者の離職者数に係る所期の目標を達成したことは、評価できる。しかしながら、女性研究者の採用比率に係る目標は未達であり、機関全体として、女性教員は3名増、自然科学系分野に限ると1名増に止まっている。
- ・ **取組**：女性研究者を対象とした個別ヒアリングを実施し、ニーズの把握に努め、オンデマンド支援を行ったことは評価できる。また、研究支援員の配置、他機関との連携による保育支援プログラム（病児保育及び一般保育）の実践、相談体制の整備等、様々な取組を推進したことは評価できる。
- ・ **取組の成果**：研究支援員制度を利用した女性研究者の科学研究費補助金採択率が55.6%と高率であったこと、女性准教授が4名増加したことは評価できる。しかしながら、自然科学系分野

の女性教員は僅か1名しか増加しておらず、さらに、実施期間内に実施することが計画された取組が実施期間終了後に先送りされており、今後は、スピード感を持って計画的に取組を進め、着実に成果を上げることを期待する。

- **実施体制**：学長の直下に、全学委員会である「男女共同参画推進委員会」と「男女共同参画推進室」を創設して、事業に取り組む体制を整備し、複数の大学と連携体制を構築して、保育支援や研究支援員による研究支援を実現したことは評価できる。
- **実施期間終了後の取組の継続性・発展性**：実施期間終了後の実施体制等、具体的に事業の継続を計画している点は評価できるが、取組に対する資金計画が十分とは言えず、取組の継続性が懸念される。今後は、事業実施のための十分な自主経費を確保し、取組の継続と発展を図ることを期待する。